



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月14日

上場会社名 株式会社一家ホールディングス 上場取引所 東
コード番号 7127 URL <https://ikka-holdings.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武長太郎
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 高橋広宜 (TEL) 047-316-0561
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	6,947	11.8	225	96.8	220	116.1	141	213.4
2023年3月期第3四半期	6,216	111.3	114	—	101	—	45	△87.5

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 160百万円(259.7%) 2023年3月期第3四半期 44百万円(△87.7%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2024年3月期第3四半期	19	96	19	37
2023年3月期第3四半期	6	78	6	48

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	5,357	20.3	1,115	20.3	—	—
2023年3月期	4,767	19.2	937	19.2	—	—

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 1,085百万円 2023年3月期 913百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	9,409	12.3	300	80.3	285	117.0	180	125.3	25	39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	7,115,700株	2023年3月期	7,083,700株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	一株	2023年3月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	7,100,491株	2023年3月期3Q	6,670,942株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通しに関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではなく、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当第3四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、マスク着用のルールが緩和され、5月8日より新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類に移行されたほか、海外からの入国制限が緩和されたことなどにより、徐々に景気回復に向かう動きが見られた一方で、ロシア・ウクライナ情勢、円安進行、原材料費の高騰などの影響が長期化しており、未だ景気の先行きは極めて不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、新型コロナウイルス感染症による影響も弱まり全体として外食需要は回復傾向であったものの、原材料費・光熱費等の高騰や人材不足及び採用コストの増加など、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、『あらゆる人の幸せに関わる日本一のおもてなし集団』というグループミッションのもと、より多くのお客様におもてなしによって感動を提供する為に、優秀な人材の確保及びサービス力向上、各ブランドのブランド力向上に注力してまいりました。

飲食事業においては、新規出店、既存店のサービス力向上及び店舗オペレーションの改善、自社アプリなどの会員獲得によるリピーター客数の増加に継続して注力してまいりました。

そのほか、原材料費の高騰を受け、4月より各業態において一部メニュー価格の改定を行いました。

新規出店・業態変更に関しては、ドミナントエリアへの新規出店（屋台屋博多劇場有楽町店・本厚木店、寿司トおでんにのや本八幡店）及び神奈川県エリアへの新規出店（寿司トおでんにのや横浜店、屋台屋博多劇場川崎店）、肉のウエキ業態を2店舗（肉のウエキ新木場店・千葉ニュータウン店）新規出店したほか、Remo cafe本八幡店を閉店したことにより直営店は合計で80店舗となりました。

その結果、外食需要全体が回復傾向の中、忘年会需要や中規模の団体での利用需要も大きく回復したことにより、既存店（屋台屋博多劇場業態・こだわりもん一家業態・大衆ジンギスカン酒場ラムちゃん業態・にのや業態・韓国屋台ハンサム業態）客数は前年同期比13.0%増となり、既存店客単価は前年同期比2.9%増で推移し、既存店売上高は前年同期比16.3%増となりました。

ブライダル事業においては、近年、結婚式のニーズの多様化により少人数婚のニーズが高まり、婚礼1組当たりの組人数が減少傾向にある中、婚礼の主力広告媒体との連携強化による来館数・成約率の向上、サービス力向上及びコスト削減、宴席の新規案件の取り込み及びリピート客数の増加、レストランのサービス力、商品力の向上及び新規客数の増加にも継続して注力してまいりました。

また、6月5日より婚礼施設「The Place of Tokyo」のさらなる付加価値の向上を図るため、施設全館を休業して、大型リニューアル工事を実施し、9月9日にリニューアルオープンいたしました。

依然として少人数での挙式のニーズは多い状況ではあるものの、婚礼の組人数・組単価については、コロナ前の水準まで回復してきており、前年同期比で増加いたしました。一方で、休業の影響により婚礼・宴席の施行件数及びレストランの客数が減少し、売上は前年同期比で減少しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は6,947,881千円（前年同期比11.8%増）、営業利益は225,758千円（前年同期比96.8%増）、経常利益は220,262千円（前年同期比116.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は141,733千円（前年同期比213.4%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 飲食事業

売上高は5,755,001千円（前年同期比22.9%増）、セグメント利益（営業利益）は300,961千円（前年同期比2,911.5%増）となりました。

② ブライダル事業

売上高は1,192,879千円（前年同期比22.2%減）、セグメント損失（営業損失）は93,041千円（前年同期のセグメント利益（営業利益）は91,771千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、敷金及び保証金が23,976千円、繰延税金資産が74,925千円減少したものの、現金及び預金が328,048千円、売掛金が56,809千円、新規出店等に伴い有形固定資産が226,579千円増加したことなどにより、5,357,872千円（前連結会計年度末比590,749千円の増加）となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、買掛金が65,513千円、1年内返済予定の長期借入金が119,980千円、未払金が37,018千円、長期借入金が71,921千円増加したことなどにより、4,242,820千円（前連結会計年度末比413,343千円の増加）となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、減資等により資本金が136,311千円減少したものの、資本金からの振替等により資本剰余金が147,987千円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が141,733千円増加したことなどにより、1,115,051千円（前連結会計年度末比177,405千円の増加）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績が概ね当初計画通りに進捗していることから、2024年3月期の業績予想については、2023年5月15日公表の「2023年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載の予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,183,763	1,511,812
売掛金	260,614	317,423
その他	178,951	198,875
貸倒引当金	△144	△245
流動資産合計	1,623,185	2,027,866
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,298,256	2,500,669
減価償却累計額	△856,688	△883,372
建物及び構築物(純額)	1,441,568	1,617,296
その他	890,570	874,784
減価償却累計額	△659,839	△593,202
その他(純額)	230,730	281,582
有形固定資産合計	1,672,299	1,898,878
無形固定資産		
のれん	5,604	4,553
その他	2,512	2,634
無形固定資産合計	8,116	7,187
投資その他の資産		
敷金及び保証金	815,069	791,092
繰延税金資産	374,198	299,272
その他	274,253	333,573
投資その他の資産合計	1,463,521	1,423,938
固定資産合計	3,143,937	3,330,005
資産合計	4,767,123	5,357,872

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	237,344	302,857
1年内返済予定の長期借入金	801,408	921,388
未払金	367,453	404,471
未払法人税等	19,916	-
資産除去債務	4,908	2,191
その他	239,533	270,858
流動負債合計	1,670,563	1,901,767
固定負債		
長期借入金	1,815,860	1,887,781
資産除去債務	282,871	297,889
その他	60,182	155,382
固定負債合計	2,158,913	2,341,052
負債合計	3,829,477	4,242,820
純資産の部		
株主資本		
資本金	172,149	35,838
資本剰余金	1,055,024	1,203,011
利益剰余金	△317,487	△175,754
株主資本合計	909,685	1,063,095
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,372	21,922
その他の包括利益累計額合計	3,372	21,922
新株予約権	16,916	22,555
非支配株主持分	7,670	7,478
純資産合計	937,645	1,115,051
負債純資産合計	4,767,123	5,357,872

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	6,216,758	6,947,881
売上原価	2,124,761	2,339,395
売上総利益	4,091,996	4,608,485
販売費及び一般管理費	3,977,287	4,382,726
営業利益	114,708	225,758
営業外収益		
助成金収入	5,523	5,082
利子補給金	3,059	2,936
その他	3,276	2,352
営業外収益合計	11,859	10,372
営業外費用		
支払利息	13,860	13,075
支払手数料	9,200	60
その他	1,603	2,732
営業外費用合計	24,663	15,868
経常利益	101,905	220,262
特別損失		
減損損失	8,886	-
固定資産除却損	7,906	-
解約違約金	6,600	-
特別損失合計	23,393	-
税金等調整前四半期純利益	78,512	220,262
法人税、住民税及び事業税	8,419	9,187
法人税等調整額	23,312	69,534
法人税等合計	31,732	78,721
四半期純利益	46,780	141,540
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1,555	△192
親会社株主に帰属する四半期純利益	45,224	141,733

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	46,780	141,540
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,271	18,550
その他の包括利益合計	△2,271	18,550
四半期包括利益	44,508	160,090
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	42,953	160,283
非支配株主に係る四半期包括利益	1,555	△192

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。